

第35回精華町環境推進委員会 会議録

会議名		第 35 回精華町環境推進委員会		
開催日時		令和 6 年(2024 年) 10 月 30 日(水)10:00～		
開催場所		精華町役場 図書館集会室		
出席者	委員	上甫木委員長、畑中委員（けいはんな環境・エネルギー研究会）、岩本泰一委員（けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会）、信田委員（精華町環境ネットワーク会議）、島田委員（精華町自治会連合会）、井澤委員（精華町女性の会）、岩本登志男委員（公募）（敬称略・順不同）		
	事務局	健康福祉環境部：岩前部長 健康福祉環境部環境推進課：山崎課長、八木係長、大西主査 (株)地域計画建築研究所（アルパック）：中川		
傍聴の可否		可	傍聴者数	2 人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由				
会議次第		1. 開会あいさつ 2. 議事 「精華町の環境（令和 5 年度）（案）」について 3. 報告 「精華町地球温暖化対策推進計画進捗報告書（案）」について 「精華町環境未来ミーティング町民向け意見交換会（精華町プラットフォーム）」について 「ゼロカーボンシティ表明」について 「デコ活宣言への賛同」について 4. その他 5. 閉会 資料①：精華町の環境（令和 5 年度）（案） 参考資料①：第34 回精華町環境推進委員会議事録 参考資料②：精華町地球温暖化対策推進計画進捗報告書（案） 参考資料③：精華町環境未来ミーティング町民向け意見交換会（精華町プラットフォーム） 参考資料④：ゼロカーボンシティ表明 参考資料⑤：デコ活宣言への賛同		

1. 開会あいさつ

事務局 定刻となったので第 35 回精華町環境推進委員会を開催する。本日はご多用の中、本委員会に出席いただきありがとうございます。

冒頭に報告させていただく、樋口委員については欠席の連絡をいただいている。また、渡辺委員と寺本委員から連絡がない。成立の要件は半数以上参加で成立している。

本委員会の傍聴については、2 名あったので報告する。

岩前部長 (開会あいさつ)

2. 議事

①「精華町の環境（令和 5 年度）（案）について」

事務局 ・資料①精華町の環境（令和 5 年度）（案）説明

上甫木委員長 目標像 2 について、今後に向けての部分で、中学校給食は現状、目標を設定していなかったのか。

事務局 目標値は担当課では設定している。昨年度から始まったため本計画には掲載していない。来年度、第 2 次環境基本計画の見直し年となるので、そのタイミングで、小学校の給食での地産地消の年間利用回数の割合目標値と合わせて中学校の目標値も記載したいと考えている。

上甫木委員長 P5 に 2031 年度の目標値が中学校給食 15.0%以上と記載があるが、計画として目標値はないが、記載したということか。

事務局 その通りである。

上甫木委員長 記憶が定かではないが、以前にこの委員会で議論したのか。

事務局 環境基本計画改定の第 1 回目の会議の中で議論した。当初は環境基本計画の中にはなかったもので、給食についてご意見いただき反映した。

上甫木委員長 P16 の遊休農地解消について、右の農地利用集積のグラフがほぼ横ばいである。しかし、本文には「農地利用集積などにより、農地の有効活用を図り遊休荒廃農地面積を抑制することができた」とあり、どう理解したら良いか。また、農地利用集積が進まない理由はあるのか。

事務局 農地利用集積が進まないのは地形的な理由がある。精華町は農業基盤整備（圃場整備）の取り組みがなされていない。特に山間部の農地は小面積で機械が入らない耕作放棄地になっている。そのような耕作放棄地が増えて来ている。よって農地の集团的利用が進まない。

ご指摘の通り、耕作放棄地が増えているにも関わらず、農地利用集積が横ばいであるので、表現の変更が必要かと思うので検討する。

井澤委員 目標像 3 の P8 の今後に向けての部分で、一般家庭からのごみの減少の啓発についても強調をお願いしたい。

- 事務局 現在の一般家庭のごみの量はコロナ過前に比べて若干ではあるが減少している。ただし、目標値に到達はしていないので、日々の啓発を進めている。地球温暖化対策実行計画の作成の際に、事業者にごみのアンケートを行い、その結果から事業者への啓発充実が必要、といった経緯から記載した。ホームページなどで一般家庭にも引き続き、日々の啓発を行っていきたいと考えている。
- 上甫木委員長 今の意見を受け、表現の検討をお願いしたい。一般家庭ごみは目標値には到達していない、事業系ごみは啓発に力を入れていただきたい。
- 井澤委員 ごみの重さなどから数値が出ていると思うが、家の周りを見ても分別ができていない。汚れた容器包装のプラスチックがごみに捨てられている。食品ロスにおいても、文言や数字を合わせるのではなく、町内の各種団体や関係各所へ働きかけることもお願いしたい。行政内でも担当分野へも働きかけをお願いしたい。地域の中でもその様な話し合いを行える場があるのでお願いすることもできる。
- 事務局 充実が必要な部分もあるかと思う。日々の啓発を進める中で、ごみ削減の意識を高めていきたい。
- 井澤委員 具体的に言うと、各家庭で食品ロスの取組を進めるためには、例えば冷蔵庫の前に捨てた食品を書くなどすれば、意識が変わると思う。
- 事務局 住民団体へのきっかけ作りはしていきたいと思っている。昨年度に一般家庭ごみの組成調査を行った。その結果も踏まえ、各種団体や住民へ啓発していきたい。
- P13 に一般家庭ごみの組成調査は令和 6 年 11 月となっているが誤りである。正しくは令和 5 年 11 月である。組成調査の結果はホームページや広報誌などで掲載している。
- 上甫木委員長 P13 に食ロスについて記載あるが、組成調査の目的を記載し、食ロスや分別への意識を啓発へ促したらどうか。つながるようなキーワードを入れると組成調査への理解が進み、家庭などでの取り組みが進むと思う。今後に向けての箇所や P8 も同様である。
- 島田委員 P9 の今後に向けてについて、特産物販売店舗を増やす具体的なイメージは店舗の特産物コーナーを常設することを提案する。
- 事務局 地域で消費することは、必要だと考えている。農政部局とも共有して実現可能か検討を進めていきたい。地域消費は町内のくくりもあるが、例えば近隣自治体の道の駅での消費といったことも考えとしてはある。町内消費のみではないとイメージしていただきたい。
- 岩本（泰）委員 目標像 4「環境・経済の循環が興るまち」は空しく聞こえる。ご存知の通り、データセンターの環境問題の影響をずっと受けている。P9 に

記載の「超快適スマート社会の創出」の表現もふわっとしている。精華町に 2007 年に来て、本当に環境が素晴らしい所であり、精華町の環境が大好きである。現在起こっている環境問題もこの委員会でどれだけ取り上げていくのか、課題についてはまた後ほど発言したい。

畑中委員

P3-4 の目標像 1 について、小中学校及び高等学校で探求学習をやっていると思う。探求学習との連携のニュアンスがあればよい。精華町は環境日記に先進的に取り組まれてきているが、小中学校については連携が可能であると思われる。

北海道の松前町で参与をしている。そこで探求学習の発表会の際に基調講演を行った。町議会の議員など主要な大人にも傍聴してもらって、一緒に子どもたちを育てていこうよと取り組みをやっている。

「人・社会・歴史・文化」と書いてあるので、掲載する内容を環境と限定せず、地域の歴史文化など併せて学ぶように出来ると良い。

P12 のコラム内で「この 10 年間に行う選択や実施する対策は、現在から数千年先まで影響を持ちます。」とあるが、もう 10 年ないので、表現を検討していただきたいと思う。細かい所は後ほど個別にお伝えしたい。

上甫木委員長

今後に向けての所にキーワードを加筆してはどうか、という意見であったが、いかがか。

事務局

教育委員会も思いとしては同じだと思う。

畑中委員

実態としては、色々な取り組みをされていると思うので、ここにも最新のトレンドを紹介してはどうか。

島田委員

北稲の地下水をくみ上げている井戸から有害な物質がでてきて、今止めていると聞いたが、事実関係はどうなっているのか。

事務局

PFAS（ピーファス）という物質が地下水から検出されたため、その井戸は使用停止となっている。町の要望を受け、京都府が検出された水源の近隣 500 メートルの現状調査をしようとしている。

畑中委員

全国的に半導体関連でフッ素系を使う工場の近くで検出されたりしている。様子を見ておく必要がある。

信田委員

今の水質の問題はどこで扱うのか、目標像 2 になるのか。水の安全性はどこかで書いておく必要があると思う。大気汚染の問題も含めて今後も問題はでてくると思う。

畑中委員

目標像 2 に含まれていると思う。

信田委員

水の安全性についてのモニタリングは必要である。

上甫木委員長

来年度は中間見直しなので、その際にも議論をしたい。

畑中委員

後から分かってくることが色々あるので、常にモニタリングして

- おくことが大切である。
- 信田委員 水質検査については、今までも調査していたデータがある。そのようなデータもここに入れてはどうか。
- 上甫木委員長 今後の検討課題として、きちんと押さえていきたい。
- 井澤委員 方向性や取り上げ方を検討するのはこの委員会の仕事だと思うが、うわさで情報が流れてきて、不安になる部分があるので、環境推進課できちんと住民への広報活動をしてほしい。
- 事務局 水質の問題は議会でも取り上げられており、住民に正しく知っていただくことが第一だと考えており、広報誌やホームページで紹介している。この物質については、国から明確な情報がまだ出ていない状況である。そのようなことも含めて正しく知っていただくことが大切であると感じている。
- 上甫木委員長 色々ご意見をお伺いしたので、意見を踏まえた修正をしていただき、発言された方に一度確認された後に、私と調整して最終案にする流れで進めたいが、良いか。
- 会場 異議なし。
- 事務局 今回の委員会の意見を踏まえて修正を行い、12月号の広報誌への掲載を予定している。
- 上甫木委員長 議事に関してはこれで終了させていただく。後は報告事項となるので、進行は事務局にお返ししたい。

3. 報告

参考資料②：精華町地球温暖化対策推進計画進捗報告書（案）

参考資料③：精華環境未来ミーティング町民向け意見交換会（精華町プラットホーム）

参考資料④：ゼロカーボンシティ表明

参考資料⑤：デコ活宣言への賛同

- 信田委員 精華町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）が製本されて送られて来た。細かい部分では実際は協議した内容からはかなり離れた部分もある。これはもうこの形で配布されることになるのか。
- 事務局 3月の時点で検討いただいたので、この計画については今年度の6月に公表させていただいている。概要版を委員のみなさんなどに配布させていただいている。
- 信田委員 素案から表現が変わった所がいくつかある。特に後半部分である。例えば、データセンターの話などが盛り込まれたが、その数値などについては未だ検討の余地があるのではないかと。
- 新聞によると関西電力が新たに作るデータセンターは電力消費が

70MWh と書いてあった。それだけで精華町のかかなりの部分を占めることとなる。それが計画されているものを含めると 7 か所になる。現在あるもので 4 か所、建設中が 2 か所、計画中が 1 か所である。

それを全て合わせると、ここに書いてある数値はかなり低い数値で、今までの小型なデータセンターの数値を基に計算してるのではないか。これから作られるものは、かなり大きなものなのではないか。そのような数値は計画の段階でもらえるのか。計画中のものであれば電力消費なども説明しないといけなと思われる。

上甫木委員長

議事は終了したので、その後の報告の所で、今の質問にお答えいただければと思う。精華町地球温暖化対策推進計画進捗報告書（案）についても報告事項となっているので、質問にお答えいただきつつ、進捗について報告・説明いただきたい。

事務局

【以下の資料について報告】

- ・参考資料②精華町地球温暖化対策推進計画進捗報告書（案）
- ・参考資料③：精華環境未来ミーティング町民向け意見交換会（精華町プラットホーム）
- ・参考資料④：ゼロカーボンシティ表明
- ・参考資料⑤：デコ活宣言への賛同

事務局

先ほどのデータセンターの件については、地球温暖化対策実行計画を作成する時点で、新たに建設予定の 4 つのデータセンターを想定して温室効果ガス削減の試算に反映している。但し、実際の電力使用量といったそこまでの情報は得られない状態だったので、一般的なレベルの内容で試算し、それを含めた精華町の温室効果ガス排出量を推計している。

4. その他

岩本（泰）委員

データセンターの騒音等の問題について情報提供。

5. 閉会

事務局

本日は長時間ありがとうございました。

環境基本計画の計画的な推進のために、引き続きよろしくお願いしたい。